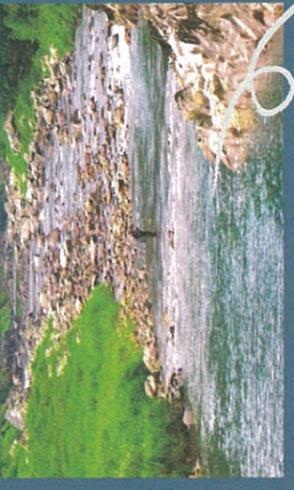


川 清流高津川

鳥根県西部を流れる一級河川。中国山地から日本海へとそそぎ、3市町をまたぐ長さは81km。水質調査では、数年連続の「清流日本一」に選ばれています。高津川の恵みといえは、何となく選ばれています。高津川の恵みといえは、何となく選ばれています。高津川の恵みといえは、何となく選ばれています。

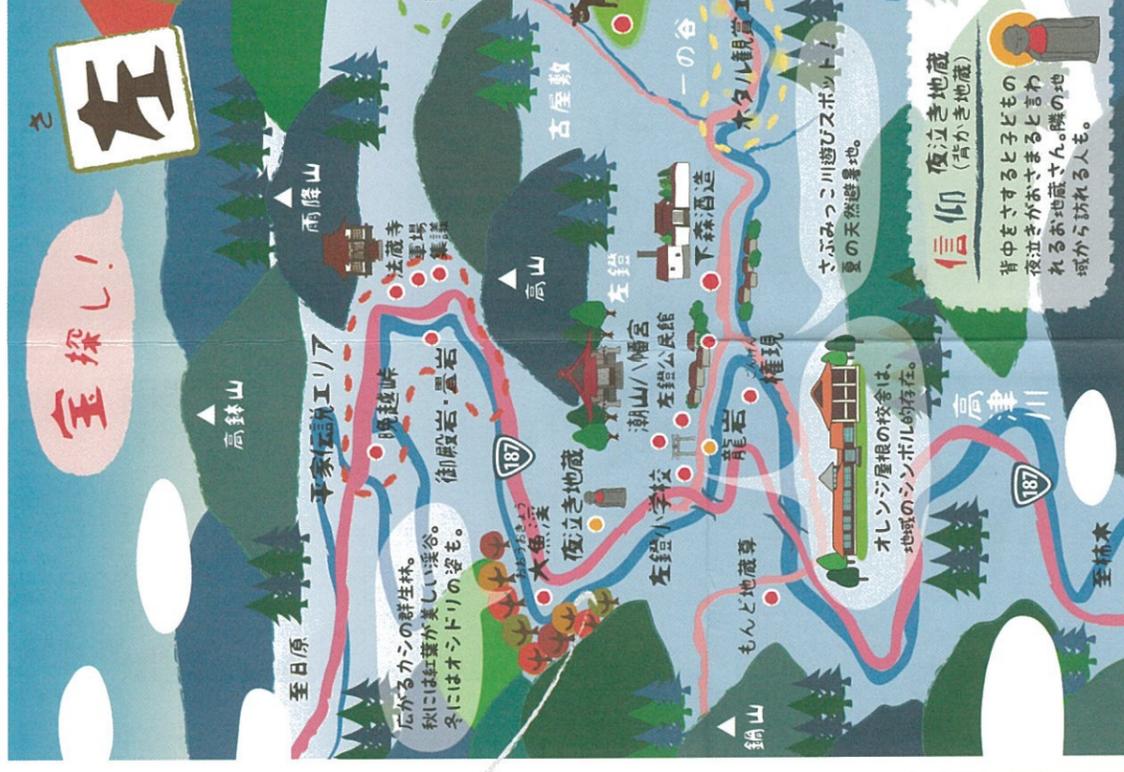


山 安蔵寺山

鳥根県の最高峰(1263m)。古くは山岳信仰の地として山頂付近に安蔵寺という寺があったと伝えられています。国立公園内に位置し、豊かなブナ原生林があります。山頂からは日本海が眺められ、晴れば四国・石鏡山を望むこともできます。巨樹オオミズナラの木は、町の天然記念物。



京村牧場 津和野町左鏡1480 0856-76-0216
標高約450mに位置する京村牧場。京村さんご夫婦が営む牧場には、肉用牛200頭、その他にも豚や鶏、ポニーが飼育されています。ここからの眺めは絶景で、「仕建場から見える景色には、いつも癒されます。朝は山に浮かぶ雲海。夜の星もきれいで、上と、奥さんのまゆみさん。独自ブランド「熱女牛」も、好評販売中！地域ぐるみで行う農業体験「さぶみ牧童探検隊」には、町内外からの子どもたちが、毎回楽しく参加しています。



宝探し!



横道の仏像 昔むかし、ある日のこと。横道川を木彫りの仏さまが流れてきたそうです。仏像は4体あり、2体は横道地区の安見家へ、もう2体は鎮蔵寺に祀られました。安蔵寺山から流れてきたと言われるこの仏像は、今も大切に保管されています。

食 左鏡には、自然の恵みがいっぱい!
山藁わさび 清水を利用して作られる左鏡のわさびは、辛味の中に甘味を感じられる独特の風味。農家のこだわりと情熱から生まれる極上わさび。ぜひご賞味あれ!
鮎あゆ 産みきった清流・高津川で獲れた天然の鮎は絶品。6月上旬から漁が解禁に。地元ならではの「鮎うるか(鮎の塩辛)」も美味。
地酒じざけ 老舗・下森酒造の日本酒。銘酒「菊露」「しまね寶泉」は酒好きも思わずうなる、香り高い地酒です。
味噌みそ・豆腐とうふ・蒟蒻こんにやく 山の里特製、手作りの加工品「山つこ」シリーズ。左鏡の母たちが作る、真心込められたあたたかい味です。
猪いのしし 地元猟師の手で捕えられたいのししが素材。山の里で食べられる冬のしし鍋は、特に美味しいと評判です。
杣の聖いのしし丼



若手わさび農家たち 左鏡では、昔から清流を活かしたわさび栽培が盛んです。
「日本一のわさび作りを目指しています。作るからには、ええもん作らなきゃと思う。その年のわさびの出来を見て、次の年はまた工夫しようと思う。ええもん作ろうと思つたら、本当に限界はないですね。」 **大庭敏成さん**
「水田わさびは、祖父の代から受け継いだ溪流式と、石を積み上げて作った石式で栽培しています。人に喜んでもらえるようになわさびを作つて、わさびの魅力をよくの方に伝えられたらいいですね。」 **安見真司さん**

下森酒造 したもりしゆぞう 津和野町左鏡992 0856-76-0002
創業1874年の酒造会社。銘酒「菊露」「しまね寶泉」などがあります。建物の石州赤瓦と漆喰のコントラストが美しく、国の登録有形文化財に指定されています。作業場内に設けられた、高さ19メートルの煙突も印象的。

平家伝説 今に伝わる左鏡の平家伝説。いくつかのお話を、ご紹介!
其の参 集議 追っ手の手がゆるんだ際に、一同が集まって話し合ったと言われる場所。
其の四 晩越 落人たちが追っ手との逃げ遅れを嘆いた、晩越峠。日暮の頃から峠を越したことにちなんで、この地名がつけられました。
其の伍 軍場 執念深く追いかけてくる追っ手との戦いの跡。この戦いの地は、御殿岩と呼ばれています。

